科目名	法資格セミナー応用（宅建セミナー）　Legal Qualification Seminar(Application)						
科目担当者	有嶋 咲　ARISHIMA Saki						
単位数	2	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　進路支援科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(2)(3)
授業の概要	本科目は、法資格セミナー（宅建士セミナー）基礎の講義レベルをクリアしていることを前提としています。権利関係部分の講義を補充したうえで、問題演習をすることによって、実践的な実力習得を想定しています。主に、本年度の宅建士試験を受験し合格を目指す方の受講を想定しています。						
授業の到達目標	権利関係部分全体について、理解を深めることと、法令上の制限の主要部分についての理解を深めること、さらに、過去問を中心とした問題演習を繰り返すことによって、実践的な知識と理解を習得するとともに、自ら学修するペースを個々人の特性に応じたスタイルで構築することを目標としています。						

授業計画・内容		
	1	イントロダクション、民法講義①（民法総則～物権（担保物権は除く））
	2	民法講義②（担保物権～債務不履行、弁済等）
	3	民法講義③（債権総論残り、債権各論１）
	4	民法講義④（債権各論２）
	5	民法講義⑤（親族・相続）
	6	民法講義⑥（その他権利関係）
	7	過去問演習①（権利関係１―民法総則～物権）
	8	過去問演習②（権利関係２―民法債権）
	9	過去問演習③（権利関係３―民法親族相続・その他諸法）
	10	法令上の制限①（都市計画法全体像～開発許可の前まで）
	11	法令上の制限②（都市計画法後半；開発許可）
	12	法令上の制限③（建築基準法前半；集団規定まで）
	13	法令上の制限④（建築基準法後半；建築確認その他、国土利用計画法）
	14	法令上の制限⑤（その他諸法）
	15	過去問演習（総合）

授業外学修 (事前学修)	事前の学修としては、指定した教科書の該当部分を読んでくることに加え、指定した問題を自ら解いてくることが必要です。
授業外学修 (事後学修)	事後の学修としては、関連する問題を自ら解いてみることや、教科書の該当箇所をさらにもう一度読み直すことが効果的です。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験での評価が基本となるが、習熟スピードなどをみて、小テスト等の実施を行います。	評価試験 60% 小テスト等 40%	①②③ ①②③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	適宜指定
参考文献	ポケット六法（令和７年度版）、その他適宜授業で指示します。
その他	授業中に常時ノートＰＣを利用するので、授業の際、各自パソコンを持参してください。